

## 交通のご案内

■バスで 新潟駅万代口バスターミナルから

【A】[B1 萬代橋ライン(BRT)など]乗車約10分→「古町」下車→徒歩12分(約860m)

※最も便数が多いです

※古町から[C6 八千代橋線]または[C5 西堀通線]入船営業所行きにも乗り継ぎできます

【B】[C6 八千代橋線]乗車時間約16分→バス停「西堀通八番町」下車→徒歩5分

【C】[観光循環バス]

※詳細は「新潟市観光循環バス」で検索

■タクシーで 新潟駅万代口から約10分

■自動車で

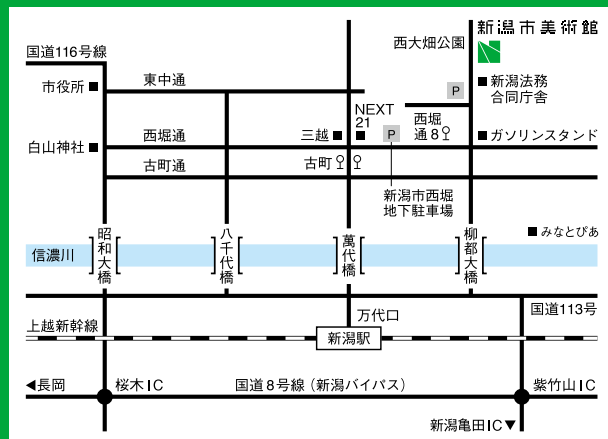
【1】[高速道路]日本海東北自動車道 新潟亀田ICを降り、柳都大橋経由で約20分

【2】国道8号線(新潟バイパス)紫竹山ICを降り、柳都大橋経由で約15分

\*駐車場情報は当館ウェブサイトでご確認ください。

■にいがたレンタサイクルステーションです

自転車の貸出あり(有料)※詳細は「にいがたレンタサイクル」で検索



## 新潟市美術館

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9

TEL:025-223-1622 FAX:025-228-3051

Mail:museum@city.niigata.lg.jp

URL:http://www.ncam.jp/

www.facebook.com/ncam.tsunagaru/

## ご利用案内

■開館時間 午前9時30分～午後6時  
冬季2月～3月は、午前9時30分～午後5時  
\*観覧券の販売は閉館30分前まで

■休館日(臨時に変更になる場合があります)

\*中面のカレンダーをご覧ください。

観覧料	コレクション展		企画展
	個人	団体(20人以上)	
一般	200円	160円	そのつど 定めます
高・大学生	150円	110円	
小・中学生	100円	70円	

\*今年度で開催する当館主催の企画展は、中学生以下無料となります。

\*当館主催の企画展観覧券でコレクション展も観覧できます。

■観覧料の免除

- 障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方および一部の介助者は、コレクション展と当館主催の企画展が無料。受付でご提示ください。
- 新潟市内の小・中学校、特別支援学校、養護学校の児童・生徒が教育活動としてコレクション展や当館主催の企画展を観覧する場合、事前の免除申請により引率者を含む観覧料が無料となります。詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

■バリアフリー

- 車椅子を無料で貸し出しています。
- ベビーカーを無料で貸し出しています。
- 多機能トイレは1階にあります(オストメイト対応)。
- ベビーシートとベビーチェアを1階のトイレに設置しています。
- 授乳室をご利用の方は受付にお申し付けください。
- 補助犬の同伴可能です。

■【カフェ】こかげカフェ L'ombrage(ロンブラージュ)

ランチやティータイムに、ゆったり楽しいひとときを。メニューは全て卵・乳製品不使用。  
西大畑ベーグルはこちらで販売しています。(ラストオーダーは閉館1時間前)  
TEL:050-3590-4402

■【ミュージアムショップ】ルルルル

展覧会の関連グッズなど、楽しい雑貨を販売。美術館の思い出を持ち帰りませんか。  
TEL:070-6670-9334

## 作品の解説・関連講座

- コレクション展のギャラリートークは、月1回開催します。
- 美術館協力会による「ふれあい美術館ガイド」は、4月を除き月1回開催します。
- 企画展の作品解説、美術講座など各種講座・イベントのご案内は、チラシやウェブサイト、Facebook、「市報にいがた」などでお知らせします。
- その他、展示解説をご希望の団体は、事前にご相談ください。

\*展覧会、イベント等の日程は変更する場合があります。

最新の情報は当館ウェブサイトでお確かめください。

## 主な施設



市民ギャラリー

個展やグループ展など、美術創作活動の発表の場にご利用いただけます。

\*展示壁面長 50.1m / 天井高 3.3m

\*入場無料を条件とし、物品販売はできません。



実習室

「創作」を通して美術を楽しむ場。原則金曜日は終日無料開放。

申込み不要。金曜以外の利用は要申込み。(有料)

\*入場無料を条件とし、物品販売はできません。



展示室

コレクション展では、当館所蔵品の魅力をテーマに沿ってご紹介。

企画展では、季節ごとに多彩な展覧会を開催します。



ラウンジN

展覧会を見たあとの休憩や待ち合わせに。軽い飲食もOKです。  
気軽に参加できる造形プログラム「きままプログラム」も開催します。



講堂

講演会や美術講座を開催。

美術に関するセミナー、研究など発表の場としてもご利用いただけます。



本のラウンジ

全国の展覧会カタログなど、美術館ならではの面白い本いろいろ。  
くつろぎのインテリアで、ゆったりお過ごしください。

## 施設の貸し出し

■お問い合わせ先

施設の利用に関するお問い合わせ

お申し込みはこちら

TEL: 025-223-1622

■使用料

	1日	午前	午後
市民ギャラリー	8,000円	2,700円	5,300円
実習室	9,000円	3,000円	6,000円
講堂	11,000円	3,700円	7,300円

■利用期間と受付開始日

	ご利用可能期間	受付開始日
市民ギャラリー	2週間以内	利用開始日の9ヶ月前の月の1日から (1日が休館日の場合は翌開館日)
実習室	1日以内	利用開始日の3ヶ月前の月の1日から
講堂	2日以内	(1日が休館日の場合は翌開館日)



## 新潟市美術館

Niigata City Art Museum



プリントシュライバー 学生たち(アリエのバルコニー) 1932年頃 ミサワホーム株式会社所蔵 (「きたれ、ハウハウス」8/3～9/23)

## 展覧会スケジュール

Exhibition Schedule

2019.4\_2020.3

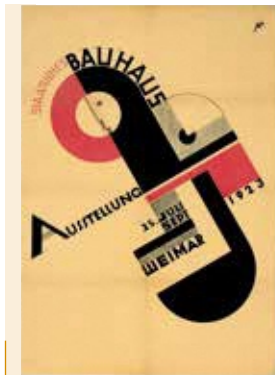


## インポッシブル・アーキテクチャー もうひとつの建築史

4月13日(土)→7月15日(月・祝)

20世紀初頭からの100年にわたる「建たなかった」建築を、約190点の図面・模型・映像などを通じて紹介します。遠い未来への夢想や、鋭い批評精神の表現、そして技術的には可能であったにもかかわらず、様々な社会的条件によって実施できなかった建築など、実現しなかった構想の数々から、逆説的に「建築」の可能性が浮かび上がります。【一般当日 1,000円】

マーク・フォスター・ゲージ 《ヘルシンキ・グッゲンハイム美術館》コンピューター・グラフィックス 2014年  
Image courtesy of Mark Foster Gage Architects



ヨースト・シュミット  
1923年のバウハウス展ポスター  
1923年 ミサワホーム株式会社所蔵

## バウハウス開校100年 きたれ、バウハウス —アート／デザインの原点—

8月3日(土)→9月23日(月・祝)

1919年、ドイツに造形芸術学校「バウハウス」が開校しました。クレーやカンディンスキーら魅力的な教授陣と、独創的な教育内容に、日本を含む世界中から学生が集いました。本展は、その設立100年を記念し、当時の教えと学びの実践に迫ります。アート／デザインの歴史に燦然と輝くバウハウスに、さながら体験入学してみませんか?【一般当日 1,000円】

## 丸沼芸術の森所蔵

## アンドリュー・ワイエス展 オルソン・ハウスの物語

11月2日(土)→2020年1月19日(日)



《クリスティーナの世界》で知られるアメリカの国民的画家アンドリュー・ワイエス(1917-2009)。夏の家があるメイン州を訪れては、クリスティーナとアルヴァロの姉弟が住む「オルソン・ハウス」での暮らしと、そこに広がる風景を克明に描き続けました。本展では、ワイエスの創作の軌跡が辿れる作品の数々をご紹介します。

【一般当日 1,000円】

アンドリュー・ワイエス 《クリスティーナの世界》習作  
1948年 丸沼芸術の森所蔵  
©2019 Andrew Wyeth / ARS, New York / JASPAR, Tokyo

## 新潟市美術館 2019年度展示スケジュール



■ 休館日 ○ 企画展のみ開催 □ コレクション展のみ開催 ■ インポッシブル・アーキテクチャー ■ きたれ、バウハウス ■ 新潟市美術展 ■ アンドリュー・ワイエス展 ■ 蔵出しコレクション

### コレクション展I

## SUMU-すむ- あなたのおうちはどこですか

4月23日(火)→8月4日(日)

人間は快適な生活を求め、文明により自らの環境を変えてきました。動物たちとともに暮らした森の記憶、世界各地の建物の風景画から、身近な家具を題材とした作品、想像上の迷宮まで、旅するようにめぐります。



遠藤彰子 たそがれの街 1982年

### コレクション展II

## 抽象の快樂、具象の誘惑。

8月9日(金)→12月1日(日)

一般的に相反する心的作用として説明される抽象と具象。20世紀以降、造形表現の実験的取り組みから生み出された様々な作品を通して、各々の魅力や相通する要素を、いくつかのキーワードを手掛かりに再確認します。



パウル・クレー ブルンのモザイク 1931年

### コレクション展III

## かわいい! かわいい?

12月6日(金)→2020年4月5日(日)

愛らしい子どもや動物、ゆるい雲気やユーモア溢れる作品。さらに、ちょっと不気味なモチーフや抽象的な作品もかわいいと形容されます。あらゆるイメージを包みこむ「かわいい」という言葉から、多彩な魅力を探ります。



中村琢二 湯沢のゲレンデ 1954年

### 第51回

## 新潟市美術展

前期:10月9日(水)  
→10月13日(日)

後期:10月16日(水)  
→10月20日(日)



## 蔵出しコレクション 草間彌生

### +アメリカに渡ったアーティストたち

2020年2月8日(土)→4月12日(日)

日本を代表するアーティスト、草間彌生(1929-)。コラージュ作品《秋に横たわる私》(1975年)や、8.4mのソフト・スカルプチュア《流星》(1992年)、版画74点など、新潟市美術館所蔵の草間作品全85点を一挙公開し、クサマ・ワールドの多彩な魅力を紹介。併せて、草間と同じくアメリカに渡って転機を迎えた作家たちを特集展示します。【一般当日 500円】

草間彌生 自己消滅 1982年 撮影:斎藤重男

\*市展会期中、11月3日(文化の日)はコレクション展無料 \*企画展は、半券持参で2回目は団体料金になる「リピーター割引」

### 新津美術館 展覧会

新潟市秋葉区蒲ヶ沢109番地1  
花と遺跡のふるさと公園内  
TEL:0250-25-1300

### 追悼水木しげる ゲゲゲの人生展

3月23日(土)→6月2日(日)

### 光と遊ぶ超体感型ミュージアム 帰ってきた!魔法の美術館

6月15日(土)→9月1日(日)

### あたらしいかたち 新潟県人作家展 2019

9月14日(土)→11月10日(日)

### 第13回秋葉区美術展覧会

11月23日(土・祝)→12月1日(日)

### 所蔵品展

12月5日(木)→12月22日(日)

### 第16回新潟教育アート展

2020年1月4日(土)→1月11日(土)

### 西蒲区の隠れた名品展

1月18日(土)→3月22日(日)